

定 例 記 者 会 見 資 料

日時 令和元年 5月13日(月) 13:30～

場所 白石市防災センター 2階 会議室

1. プラネタリウム寄付受納式
2. 新たな白石市地域おこし協力隊の着任について

令和元年5月 記者会見資料

プラネタリウム寄付受納について

担当：保健福祉部子ども家庭課

本市では、「学校教育の充実」や「子育て支援」の推進を施政方針で掲げており、確かな学力の育成を図るためのさまざまな施策や、こじゅうろうキッズランドの整備・運営などに取り組んでいるところです。

今回のご寄付は、このような市の方針に共鳴いただき、市内小中学校児童・生徒の科学への知的好奇心向上を目的として、プラネタリウムや天体望遠鏡など天体に関する各種物品となります。

これらのご寄付は、昨年8月にオープンしました子どもの屋内遊び場「こじゅうろうキッズランド」をはじめ、市内小中学校などで有効に活用させていただきたいと考えております。

このことにより、ひとりでも多くの子どもたちが星座などの天文学に興味をもち、学力向上の一助となるよう努めてまいります。

1 寄付者

本多 修 様

2 寄付物件

- (1) パーソナルプラネタリウム1台
- (2) 天体望遠鏡1台
- (3) 家庭用プラネタリウム、投影用ドームテント、天体に関する本・DVD、地球儀等 一式

新たな白石市地域おこし協力隊の着任について

担当：企業立地定住促進課

昨年5月の開所から、丁度1年を迎える白石市移住交流サポートセンター「109-one（トークワン）」に新たな仲間（移住交流アソシエイト）が着任しました。

109-oneを核とした人の繋がりや地域の価値、そして新たな視点と発想力を活かして地域課題に取り組むこととなります。今回着任した協力隊は、石彫家を目指していて、移住者目線と芸術的視点から交流人口・関係人口への積極的取り組みを期待しています。

・着任日

平成31年4月1日

・新地域おこし協力隊

隊員名：能城 智園（のしろ ちおん） 25歳

前住所地：東京都渋谷区恵比寿

経歴：H25年3月 群馬県立館林商業高校 商業部卒

H29年3月 日本大学芸術学部 芸術学部・美術学科卒

H29年度 日本大学三島高等学校・中学校 非常勤講師（美術）

H30年度 目黒区立目黒中央中学校 非常勤職員

特別支援学級補助員

従事業務：①地域内プレイヤー同士の橋渡しによる地域活動の促進

②生活における実体験やまち歩きを通じた地域の魅力等の情報発信

③白石のファンづくりにつながる企画と実施

④高校生や大学生といった若者の地域活動の支援

⑤109-oneやお試し住宅の利用促進につながる活動 など

「移住者と地域の交流の場」、「交流人口・関係人口の増加」に向けた企画と実施に主体的に取り組んでもらいます。

参考：2019年5月2日から5月5日に109-oneの開所一周年記念イベントとして「1年の歩み～写真展」を開催しましたが、その際、「宮城で活躍する彫刻家 4人展」と称して、本人の活動を活かした小規模展覧会（別紙リーフレット参照）を開催しています。